

まちの中には 外見から気づかない 障害や困難がある方もいます

まちの中にはさまざまな人がいます。白杖を使った目の不自由な人がまちを歩いていたら、ぶつからないように気を付けて通りませ。電車に乗っている時、杖を持った人が乗ってきたら、席を譲ります。このように、私たちは外見から相手のニーズや状況を推測しています。

しかし、さまざまなニーズのある人の中には、「外見から気づかない障害や困難」がある人もいます。知的障害、精神障害、発達障害の人たちをはじめ耳が聞こえにくい人、握力が弱い人、重いものが持てない人、日本語が分からない人、長い時間立ってられない人、妊娠初期の妊婦さん等です。

外見から気づくことができないけれど、困難があり配慮が必要な人は、普段の生活の中でどのような配慮をしてほしいと思っているのでしょうか？事例をいくつか見てみましょう。

レジで



今年度は買い物シーンに焦点をあて、当事者のみなさんの声を聴いたよ。

➡ 4ページ



他にも、こんなシーン

階段で



今日ヘルプマーク※をつけて来れば良かったかな？

電車で



※ヘルプマークとは ➡ 7ページ

「世田谷UDスタイル」とは

多くの方がまちを快適に利用するための工夫や配慮を、自分自身の日常の暮らしに取り入れ実践していくことが「世田谷UDスタイル」です。様々なスタイルをこの冊子では紹介しています。

第9号の内容

- まちの中には外見から気づかない障害や困難がある方もいます 02 03
- 外見から気づかない障害や困難がある方の声を聴きました 04 05
- 店員さんに伺いました 06
- UDワークショップでもたくさんの意見が出ました 07
- インタビュー 08
- UDサポーターの活動紹介 09
- 補助犬クイズ UDの本 10 11
- 世田谷区の取組み 裏表紙

UD(ユニバーサルデザイン)とは

年齢、性別、国籍、能力等に関わらず、できるだけ多くの方が利用しやすい生活環境にするという考え方です。